



今津

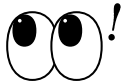
NO. 303

編集・発行
今津コミュニティ
編集委員会

連絡先
46-7889(大段)



ホームページ
二次元コード



情報は自分で取りに行く時代

時代の変化に

ついていきましょー!!



時代の変化に伴い、情報の入手方法が急速に大きく変化してきています。これまでは、新聞や辞書などの本、テレビラジオから情報を得ることが主体だったのが、情報技術の進化に伴い、スマホやパソコンを使ってAIやインターネットで検索したり、SNSやニュースアプリなどを使って迅速にたくさんの情報を得る形が主体となっています。

便利が故の注意点

すぐ信じないで冷静に判断

誰もが情報発信することができ、世界中から瞬時にたくさんの情報が入りますが、中

みんなで頑張りましょう

にはうそやデマの誤情報もあり、何を信じていいか分からなくなるという難点もあります。受け止める側が簡単に信じていることなく、複数の情報を比較して信頼性を確認しましょう。

- スマホやパソコンの操作が苦手という人もたくさんいますが、情報を得る道具がある程度使いこなせないと情報が入らなくなり、自分が損をすることになります。少しずつからでも良いので、活用できるように挑戦してみましょー。
- 調べたい事項を検索する
- AIに質問する
- ニュースアプリを閲覧する
- SNSを閲覧する

「宮っ子今津」も地域でスマホ勉強会を開催

7・11月にかけて初心者や操作に不慣れな人向けに、「宮

っ子今津」で作っているホームページやSNSを例に使って、スマホで情報を検索する勉強会を3回開催します。



1回目は20人が参加

1回目は7月11日に開催しました。皆さんゆっくりでしたが、一生懸命に操作して自分の調べたいことを検索する手順を覚えていました。

引き続き機会を見つけて、操作に慣れていない人向けの勉強会を開催していきます。諦めないで変化に対応する努力をしましょう

変化に対応せずに今まで通りにしていると、取り残されていきます。

対応するための努力も全くせず「自分には無理」「面倒

くさいから」と放っておくと取り残されていきます。

高齢の人でも使いこなしている人はたくさんいます。スマホやパソコンの初心者向けの勉強会もたくさん開催されています。難しい部分も多く、不安な面もあると思いますが、家族にも教えてもらい、友人とも助け合って、便利な道具を少しでも活用できるように前向きに取り組んでみてください。



みんなでお話し合っ

家族でもやさしく何度でも

家族の中だと「聞いてもやさしく教えてくれないので、聞くのが嫌になる」という話をよく聞きます。皆さんいつかは通る道です。ぜひ家族にも丁寧に教えてあげてください。

災害に備えて 今津地域・家庭での備えは大丈夫ですか

ここ最近、海外、国内各地で地震や豪雨による被害が増えています。今津地域では、31年前の阪神・淡路大震災で被害がありました。当時は、電気、ガス、水のライフラインが壊れて復旧に時間がかかりました。

台風シーズンに備えて、地域の状況を調べてみました。

南海トラフ地震に備えて

津波・高潮対策として、令和4年に今津港に完成した新川水門は高さ40mあり、災害時は水門最上部に引き上げられている2枚の門扉が海に降りていく仕組みとなっています。



新川水門



排水機場の工事状況

新川・東川統合排水機場の工事も進められています。老朽化した各排水機場を統合し、排水能力を約2倍に増強する工事で、津波や高潮から市街地を守る重要な防災施設ですが、進捗が遅れており、完成は来年末ぐらいになりそうです。

■災害対策

応急給水ステーション

大規模な断水に備えて、小・中学校などに緊急貯水槽や応急給水設備付き受水槽が整備されています。平常時には水道管として新鮮な水が送られています。災害時には自動で遮断弁が作動し、飲料水が確保されます。



緊急貯水槽の場所

津門中央公園（東地区）

公園の片隅に埋設されており、災害発生時には、地域の飲料水200m³が確保できます。



手押しポンプ

公園の北側には、手押しポンプが3台あり、その近くにある溝のふたをベンチの一角に渡すと、炊き出し用の時に使える窯になるようになっています。

今津中学校・南甲子園小学校

緊急貯水槽が校庭の隅に埋められており、100m³の備蓄容量があります。



今津中学校にある貯水槽の場所

今津小学校にも、応急給水設備付き受水槽が配置されており、15m³確保できます。

■地域の備蓄物資

（令和7年11月30日現在）



備蓄倉庫

今津浜公園内備蓄倉庫の物資

リゾットご飯 4,000食
アルファ化米おにぎり 10,000食

保存用パン 9,000食

毛布 11,780枚

ブルーシート 1,200枚

組み立て式トイレ 4基

紙の間仕切りシステム 120区画

折りたたみベット 450台

人命救助システム 7組

災害対策用ボート 4台

以上のような物資が保管さ

れています。兵庫県阪神南県民局で管理しており、他県で災害が起きたときは、支援したり、消費期限前には入れ替えたりしています。

今津小学校

飲料水、粉ミルク、液体ミルク、おかゆ、アルファ米、ビスケット類、防寒シート、タオルなど

今津高等学校

飲料水、おかゆ、アルファ米、ビスケット類、防寒シート、タオルなど

南甲子園小学校

哺乳瓶、おかゆ、アルファ米、ビスケット類、水袋、防寒シート、タオル、乳児用おむつなど

津門中央公園

毛布、ごみ袋など

以上、地域内の各所でも、いろいろな物資が保存されています。



■近くの避難場所

地域の避難場所を知っておこう
避難場所とは、災害の危険から命を守るために緊急的に避難することを目的とした施設、または場所です。

■使うことができる災害



避難場所案内

今津小学校

内水氾濫、洪水(2階以上)
高潮 (3階以上)
津波 (2階以上)

真砂中学校

内水氾濫、洪水(2階以上)
高潮 (3階以上)
津波 (2階以上)
大規模な火事(運動場のみ)

今津中学校

内水氾濫 (2階以上)
洪水 (3階以上)
高潮 (3階以上)
津波 (2階以上)
大規模な火事(運動場のみ)

今津公民館

内水氾濫、洪水(2階以上)
高潮 (3階以上)
津波 (2階以上)

■地域での取り組み

今津連合福祉会・今津自主防災会では、1年ごとに避難訓練を行っています。



バケツリレー

令和6年10月19日に防災訓練を兼ねた運動会を行い、22町会が災害が起きたと想定して、バケツリレーや消火器に

よる消火体験、簡易担架での搬送訓練などを行い、災害時には住民同士協力することの大切さを痛感しました。



配布されている防災マップ

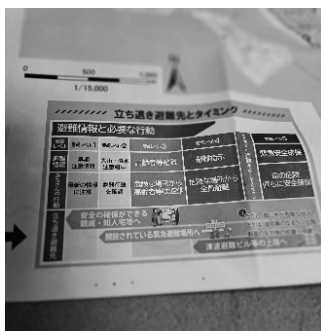
■防災マップはありますが、中を開いてみませんか
毎年、各家庭に配られている防災マップでは

- ①わが家の避難プラン
災害別に避難行動を確認
- ②災害に備えて
緊急避難場所へ避難する際の注意点
・災害に応じた緊急避難場所の開設状況の確認
・食料、衣類など最低限必要な物を準備
・余裕をもって早めに避難
・自宅などでまわる人は自宅待機

■各家庭ではどのような取り組みをしていますか

非常用品、持ち出し品

- 飲料水、保存食品は家族3日分は用意
 - 懐中電灯、乾電池、スマートフォン、バッテリー、カセットコンロ、カセットボンベ
 - 現金
家族で話し合って、持ち出し品を決めておきましょう。
避難場所は決めておきましょう。地域の人同士、日頃から協力して助け合いましょう。
- 問い合わせ
西宮市防災危機管理課
0798-3513626



防災マップ内「立ち退き避難先とタイミング」

講座のお知らせ

今津公民館 (22-3529)

9月1日(火) 14:00～15:30

こつそしょうりょう

「骨粗鬆症と骨折治療」

～寝たきり防止のための最新治療～

定 員：60人程度

参 加 費：無料

申し込み：オンライン申し込み

場 所：今津公民館3階講堂

南甲子園公民館 (49-4741)

10月17日(土)

津門ウォーキング

集 合：10:00 今津公民館第4集会室

解 散：11:30 六湛寺公園

申し込み：オンライン申し込み

定 員：15人程度

10月31日(土) 13:30～14:30

「恐竜のタマゴ」を作ろう

～不思議な理科おもちゃを作って遊ぼう～

申し込み：10月22日(木) 10:00～11:00

来館のみ先着順(1人で2人まで可)

材料費、持ち物：不要

対 象：年長から小学4年生

定 員：15人(子ども) 保護者同伴可

* 詳細については、各公民館にお問い合わせください

わんぱく相撲西宮大会実行委員会が主催し、一般社団法人西宮青年会議所とNPO法人西宮てらこやの共催による「わんぱく相撲西宮大会」が、



はつけよい、のこった

わんぱく
相撲西宮大会

5月31日に今津小学校の土俵を使って開催されました。西宮市内在住の小学4～6年生が日頃の練習の成果を土俵の上で競い合いました。行司を含めて、土俵の整備や運営は、実行委員に交じって報徳学園高等学校相撲部が協力していました。子ども食堂も開催され、ちゃんこ鍋やおにぎり、唐揚げなどを参加者や家族、観戦者は楽しんできました。



地域交流拠点で利用者と話す児童

今津小学校の
「ミニトライやる」実施

地域の人たちから、受け継がれてきたことや仕事など、いろいろなことを教えてもらう活動として行われている「ミニトライやる」。今年は、

1月に現6年生が5年生時に実施。そして、現5年生が6月29日の午前中に、近隣の事業所や保育施設、福祉施設、地域交流拠点、個人の協力を得て実施しました。

着付けや生け花を習ったり、スーパードの手伝いをしたり、和ろうそく作りに挑戦したり、保育所で子どもの面倒を見たり、地域交流拠点で来店者を接客したり、いろいろなことを体験しました。

とても短い時間だったので、理解しきれない面もあったかもしれませんが、今まで知らなかったことや考えもしなかったことに出合い、良い経験になったことでしょう。



和ろうそく作りに挑戦

自転車の交通反則
通告制度について

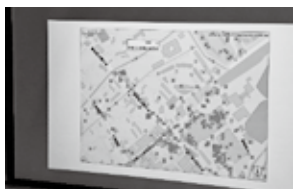
今津地区ボランティアセンター主催で、6月29日に今津南会館で「自転車の交通反則通告制度について」の説明会が開催され、地域のボランティア40人余りが参加しました。



熱心に説明を聞く参加者

西宮警察署職員は「西宮市では自転車関連の交通事故が増えています」と話し、交通ルール、反則青切符、赤切符の説明がありました。

その後、「電話での詐欺が多発しているので、だまされないよう気を付けるように」と話しました。



自転車交通事故多発地域